

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|---|----------------------------------|----|-------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第 659 号 | 氏名 | 本田 歩美 |
| 学位審査委員 | 主査 中根 秀之 副査 大園 恵幸 副査 篠原 一之 | | |
| <p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、我が国において従来調査研究がなされてこなかった就労者における介護負担と抑うつ症状の関係を明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 企業就労者を対象に、抑うつ症状や職場ストレスを精神医学的に標準的なツールを用いて解析した。本研究は、わが国でも数少ない疫学的研究でありさまざまな制約の中で、考えられる種々のサンプルバイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 統計学的解析によって、過度の就労負担及び職場でのコミュニケーションが少ないことは、精神健康に悪影響を及ぼし抑うつリスクを高めていることが示唆された。また、介護をしている就労者のメンタルヘルスにおいて抑うつ状態を示すものが多く、主観的健康観や就労ストレスのみならず、仕事と家庭の葛藤が影響していることを明らかにした。これは、今後の我が国における高齢者人口の増加の中で、就労者の適切な支援を検討する重要な成果であると考えられ、今後の研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は精神保健疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p> | | | |